

小学校 道徳教科書

7月20日の教育委員会「秘密会」で採択

文科省 道徳教科化

小1から愛国心強制

個人の尊厳を基礎にしてこそ

文科省は小中学校の「道徳」を「特別の教科」とする学習指導要領の改定を行いました。小学校では2018年度、中学校では19年度から実施されます。道徳の教科化は、これまでなかった検定教科書を使用して道徳を教え、かつ、これまで行ったことがなかった一人ひとりの子どもの心や道徳を評価するものです。

従来とは次元の違う形で、子どもに「官製道徳」を押し付けるものです。全国紙・地方紙の多くが「皇民化教育を担った戦前の『修身』を思い起こさざるを得ない」（神奈川新聞）などと懸念を示しています。

碧南市は秘密会で決定

碧南市教育委員会は、7月20日に「秘密会」として傍聴者を締め出し、たった一度で小学校道徳教科書の採択を行いました。

ホームページにも掲載せず

碧南市では、ホームページで「会議の公開」を掲載しています。ところが、7月20日の教育委員会の議案内容は、前月のものが記載され、市民にはこの日道徳教科書の採択が行われることすら知らさ



↑教育出版小2の道徳教科書には、国家・国旗を大切に・・・と。
 同小5教科書には、安倍首しようの写真と説明文が、書かれています。

れなかったのです。すでに、愛知県西三河教科用図書採択地区協議会では、6月に、教科書採択が終わり、9市1町の各教育委員会での採択を経て、9月に最終的に採択を行う予定です。たった一度の、碧南市における道徳教科書採択を市民そっこのけでおこなうのでは、国や県にも言うことはできません。

教科書展示は、6ヶ所のみ

西三河では8社の教科書候補を直接見られるのは、6ヶ所（岡崎、豊田、足助、西尾、安城、みよし）だけです。碧南市にはありません。

教科化は憲法に逆行

今回の道徳教育教科書会社の中で、（東京書籍、小1）の「にちようびのさんぽみち」という教材で登場する「パン屋」を「和菓子屋」に変更させられたことはマスコミでも話題になりました。市民団体からは（教育出版、小5）で何の関係もないボブスレーの話に、「安倍首しよう」の写真と説明文が掲載。同、小2）では、国旗・国家を大切にと記載されていると批判の声があがっています。

国家権力が国民に特定の価値観を押し付けることは、憲法の定める思想良心の自由を侵すことにほかなりません。日本共産党は道徳の教科化に反対するとともに、憲法の理念に沿った市民道徳をはぐくむ教育を進めることを主張します。



透明性、自主性、人権尊重こそ

そのためには、なによりも学校や社会が、個人が尊重される場になることが必要です。体罰や不合理な校則など管理一辺倒の学校では、子どもたちが本当の意味で正義感や思いやりを持つて人と接するようにはなりません。

学校で、現実に自分たちが直面している問題を解決する学級活動、子ども自身が話し合い、つくりあげていく行事などの自治的活動も大切にしてほしいことです。

また自然や社会のしくみを知る日々の学習は、子どもたちの自主的批判的精神をはぐくみます。さらに民主主義や人権の尊重には、憲法や子どもの権利条約についての学習も不可欠です。勤労の精神は、労働基準法などを学んでこそ、生きたものになります。侵略戦争の歴史を学び、その反省にたつてこそ、本当に国を愛し、他国の人びとと連帯し、平和を守る精神を自らはぐくむことができます。

こうして市民道徳の形成は、学校生活全体で支えるものであり、その一つである「道徳の時間」も自主性が重要です。

憲法を具現化するのが公民館・社会教育

いまこそ憲法守る地方自治を

自治体学校in千葉
に行ってきました

延べ1100名の参加者

毎年、自治体関係者、議員、市民団体が参加し一流講師とともにひらかれる自治体学校。今年第59回として初めて千葉県で開かれました。3日間、北海道から沖縄県まで延べ1100人の参加者で、日本共産党碧南市議団の3人も全日程に参加しました。

住民参加で輝く自治体を

22日午後は、第一日目の記念シンポジウムで、岡田知弘京都大学教授、渡辺治一橋大学名誉教授、中山徹奈良女子大大学院教授が、都議選での自民党の大敗を受け、安倍改憲と地域での対抗軸形成の展望を語りました。東日本大震災、沖縄、新潟から新しい民主主義・地方自治



受け皿は大きく、魅力ある料理を盛って

の流りが生まれています。自民党政治の平和とくらしを脅かす政治を変えたいという国民世論が高揚している中で、ぐずぐずしていれば、「国民ファースト」（小池知事の国政化）など、亜流でごまかされてしまう。安倍政治の受け皿は、幅広い共同で大きな皿に。新潟の原発、沖縄の基地のように、くらしを守る要求という切実な魅力ある「料理」を盛ってこそ大道団結ができる。と渡辺氏。中山氏は大阪維新の、カジノなど開発型自治体を告発し、これは大阪だけではないと警鐘を鳴らしました。

公共事業総合計画で公共が企業の食い物に

2日目は、植草学園大学に場所を変え12分科会。3現地分科会。ナイター企画は、沖縄、リニア、病院、生活保護など6企画が行われました。山口はるみは、「公共施設とまちづくり」で森裕之立命館大学教授の話を聞きました。公共施設の統廃合や再編、コンパクトシティに向け用途地域変更など、住民不在で進める全国の事例も紹介されました。

スズキが進める浜松市439公共施設廃止

浜松市は、2005年に12市町村が合併。直後に「行財政改革推進審議会を会長 鈴木 修（スズキ自動車会長）で設立。2007年には、スズキの息のかかった市長が誕生。職員6500人を1000人以上削減。2009～2015までに439施設を廃止。全国屈指の「佐久の医療」も保健師の居場所さえなくなる状況になっています。

ヤマダ電機跡に600名の子ども園計画 阪南市

阪南市は、2015年にヤマダ電機跡地に、4幼稚園3保育園を合わせ20億円で「総合子ども園」構想を発表。市民12000人の「ちよつと待つて」署名を広げ、市長交代を実現。半年たっている。公費で用地購入など公明党国土交通省がらみで「モリ・カケ」と合わせて「ヤマ・カケ・モリ」疑惑と広がっています。

公民館は憲法普及と具現化のためにつくられた

3日目は、「社会教育・公民館と役割と地方自治をめぐる課題」と題して、長澤成次千葉大学名誉教授の特別公演。長澤氏は名大でも学びだかたです。日本国憲法施行70年の歴史に立って、1947年の教育基本法、49年社会教育法は、文字通り憲法の普及のために、設置が義務付けられたもの。現代も憲法の具現化のために大人が学ぶ場として書くことのできないものと力説されました。教育委員会も本来公選制であるべきもの。現在市長任命となったものの「教育長と教育委員会」の独自性はつらにされるべきものと明言。行政の一方的な、公共施設の廃止や統合は、明確な憲法違反として住民が跳ね返すことが必要と指摘されました。

碧南市の7小学校区直営公民館は宝

碧南市では、小学校区ごとに館長と事務員2人の正規職員が廃止されています。各地で「指定管理制度」により行政が民間に放り出している中「憲法遵守」と「公僕」を宣誓している市職員が企画・助言・公正・公平に運営しているからこそ、運動や文化を通じて「健康寿命」を伸ばしコミュニケーションと民主的な成長を保証できます。まさに市民の宝です。

個別計画で国が圧力

平成28年度にすべての公共施設の「総合管理計画」が碧南市でもつくられました。現在、個別計画がつくられつつあります。「認定子ども園」「指定管理者制度」「PFI方式」などコスト優先で、国に誘導されないようにしなければなりません。職員明彦議員は上下水道の民営化の動きの分科会。岡本守正議員は赤山地下壕の戦跡とオスプレイ修理拠点をめぐる現地分科会に参加。今後の市政に生かします。

次回は8月19日(土)

午前11時～12時

ヤマナカ前

日本共産党碧南市議員団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253